

臨時福祉給付金

9月1日から申請書を郵送

平成26年4月から消費税が8%に引き上げられた影響に配慮し、市民税が非課税の方に臨時福祉給付金を、一億総活躍社会の実現に向けた賃金引き上げの恩恵が及びにくい所得の少ない年金受給者に年金生活者等支援臨時福祉給付金(障害・遺族年金受給者向け)を1回限りで支給します。今年1月1日の基準日に本市に住民登録があり、給

す。提出は市役所J1-1会議室で、土・日曜日、祝日などを除く9時~16時30分に受け付けます

▼申請受付期間 9月1日(消印有効)~12月1日(消印有効)

▼支給日 申請書の審査後、10月上旬から順次、指定口座に振り込みます(金融機関に口座がない方などは、別途通知します)

▼申請書の提出 市から郵送する申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、同封の返信用封筒で返送してください。申請書は、直接提出することもできます。

▼世帯構成や銀行口座の番号などの個人情報照会などの個人情報をかたった不審な電話があった場合には、同課か大和警察署(☎046・261・0110)に連絡してください。

▼ATM(銀行・コンビニ)などの現金自動預払機)の操作(自分の操作で、市や他人からお金を振り込んでもらうことはできません)

▼支給のための手数料の振り込み(手数料は掛かりません)

臨時福祉給付金

- 支給対象者 今年度分の市民税(均等割)が課税されていない方。ただし、市民税課税者の扶養親族になっている方や、生活保護の受給者は除きます。
- 支給額 1人につき3000円(1回限り)

年金生活者等支援臨時福祉給付金(障害・遺族年金受給者向け給付金)

- 支給対象者 今年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、障害基礎年金か遺族基礎年金を受給している方。ただし、高齢者向け給付金の支給を受けた方は除きます。
- 支給額 1人につき3万円(1回限り)

無理なく体力維持・向上を レインボー健康体操

レインボー健康体操を下表のとおり開催します。同体操は、椅子に座ったり床に寝たりした状態で、タオルを使って行う体操で、脳刺激やストレッチなどを取り入れています。無理な姿勢をとることなく、自分が出せる力で行うので、体力に応じて参加することができます。地域の方と楽しく体力の維持・向上に取り組んでみませんか。65歳以上の方対象。飲み物、タオル、バスタオル持参。定員20人(申込順)。8月16日から高齢介護課☎70・5633。



会場・時間	日にち
綾南会館 13時30分~15時30分	9月5日・12日・26日、 10月3日の各水曜日
泉正園はなね (上土棚南) 10時~12時	10月5日・12日・26日、 11月2日の各水曜日
道志会老人ホーム (早川城山) 10時~12時	10月17日・24日・31日、 11月7日の各水曜日
綾西憩の家 10時15分~12時	10月19日、11月9日・30日、 12月21日の各水曜日

光・食・文化の 祭典実行委員会 委員募集

来年度に開催する、光・食・文化の祭典実行委員会委員を募集します。

市内在住・在勤で地域振興に関心があり、平日18時以降の会議に出席できる18歳以上の方対象。書類選考あり。報酬なし。任期は来年6月30日まで。同委員会事務局(商業観光課内。☎70・5685)にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に記入し、8月31日までに同課へsu1440@city.ayase.kanagawa.jpか直接。



観光ますづくり

~ツーリズム事業~

綾瀬の魅力を発掘し、観光を創出しようと、25年度に市が設立した市民の観光振興検討組織「あやせプロモーションクラブ」は、ツーリズム事業としてまち歩きやサイクルツアーなどの着地型旅行を企画し、地域活性化を目指しています。

昨年度は、初めて厚木基地を取り入れたツアーを実施し、多くの方が参加しました。普段は入ることが難しい同基地内で友好広場や教会を見て回り、施設関係者からは施設の歴史、役割、地域交流などの話を聞くことができました。

今年度の1回目は、9月10日に市内工業団地を歩いて見て回る「ものづくりの街 テクッとあやせ」を開催します。普段見る機会の少ない工場の様子を、ぜひ間近で体感してみてください。参加者の募集は8月19日までです。詳細は広報あやせ7月15日号か市ホームページを参照してください。

☎商業観光課☎70・5685。



あやせ スポレポ!



ソフトボール協会
岡本
☎77・1208



まちかど特派員 大滝隆司

昭和53年11月の市制施行と同時に、故比留川昇さんが会長に、小林辰三郎さんが理事長に就任し、市ソフトボール協会は創立されました。現在は、4代目会長の池田五夫さんと5代目理事長の岡本進さんをはじめとした、役員、理事で同協会の運営を行っています。

チーム登録数は、一般男子が20チーム、家庭婦人が2チーム、シニアが4チームです。登録数は減少傾向にあり、若年層の拡大を考えると小・中学生のチームが少ないことが頭の痛いところだそうです。

大会は、年間を通してのリーグ戦、壮年・実年・シニアの区分で競う年齢別大会、市総合スポーツ大会、県央五市親善大会が行われ、ソフトボール場を中心に活動しています。岡本理事長は「当初は学校のグラウンドなどを使用していたが、その後、昭和60年に本蓼川ソフトボール場、平成24年にはスポーツ公園に人工芝のソフトボール場に

昭53年11月の市制施行と同時に、故比留川昇さんが会長に、小林辰三郎さんが理事長に就任し、市ソフトボール協会は創立されました。現在は、4代目会長の池田五夫さんと5代目理事長の岡本進さんをはじめとした、役員、理事で同協会の運営を行っています。

チーム登録数は、一般男子が20チーム、家庭婦人が2チーム、シニアが4チームです。登録数は減少傾向にあり、若年層の拡大を考えると小・中学生のチームが少ないことが頭の痛いところだそうです。

大会は、年間を通してのリーグ戦、壮年・実年・シニアの区分で競う年齢別大会、市総合スポーツ大会、県央五市親善大会が行われ、ソフトボール場を中心に活動しています。岡本理事長は「当初は学校のグラウンドなどを使用していたが、その後、昭和60年に本蓼川ソフトボール場、平成24年にはスポーツ公園に人工芝のソフトボール場に

